

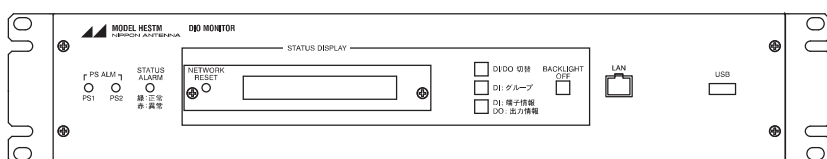
このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。工事の際には施工説明書に従って施工をおこなってください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上の注意」をごらんください。

HE監視装置

Model HESTM

目次

表紙	説明の始まるページ
〔取扱説明書〕	
取扱上の注意	1
メンテナンス	1
付属品	1
安全上の注意	2
廃棄上の注意	2
特長	3
外観および寸法図	3
各部の名称および機能	4
標準性能表	5
初期設定	5
〔施工説明書〕	
設置場所・条件	6
接点監視について	6
接続方法	6
液晶パネルについて	7
機能アース	8
ファームウェアバージョンアップ	8



Model
HESTM

取扱説明書

取扱上のご注意

取付工事は、専門の施工業者にご依頼ください。

メンテナンス







年に1回は専門業者に保守・点検をご依頼ください。

付属品

電源ケーブル	2本
予備ヒューズ	2個
データCD	1枚
取扱説明書	1部
試験成績書	1部

安全上の注意

絵表示について この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例	
	△記号は注意(注意・警告・危険を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。

警告

●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



●万一、本器を落としたり、破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



●表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。また、同軸ケーブル重畳方式にて動作可能な機器は、表示された重畳電圧を供給してください。その際は電源プラグをコンセントから抜いてご使用ください。



●本器の上面カバー(接続端子部カバーは除く)をはずしたり、本器を改造したりしないでください。また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

●本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づけたり)引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。



●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



●万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



注意

●本器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本器が変形し、火災・感電の原因となることがあります。



●直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所(調理台や加湿器のそば)に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



廃棄上の注意

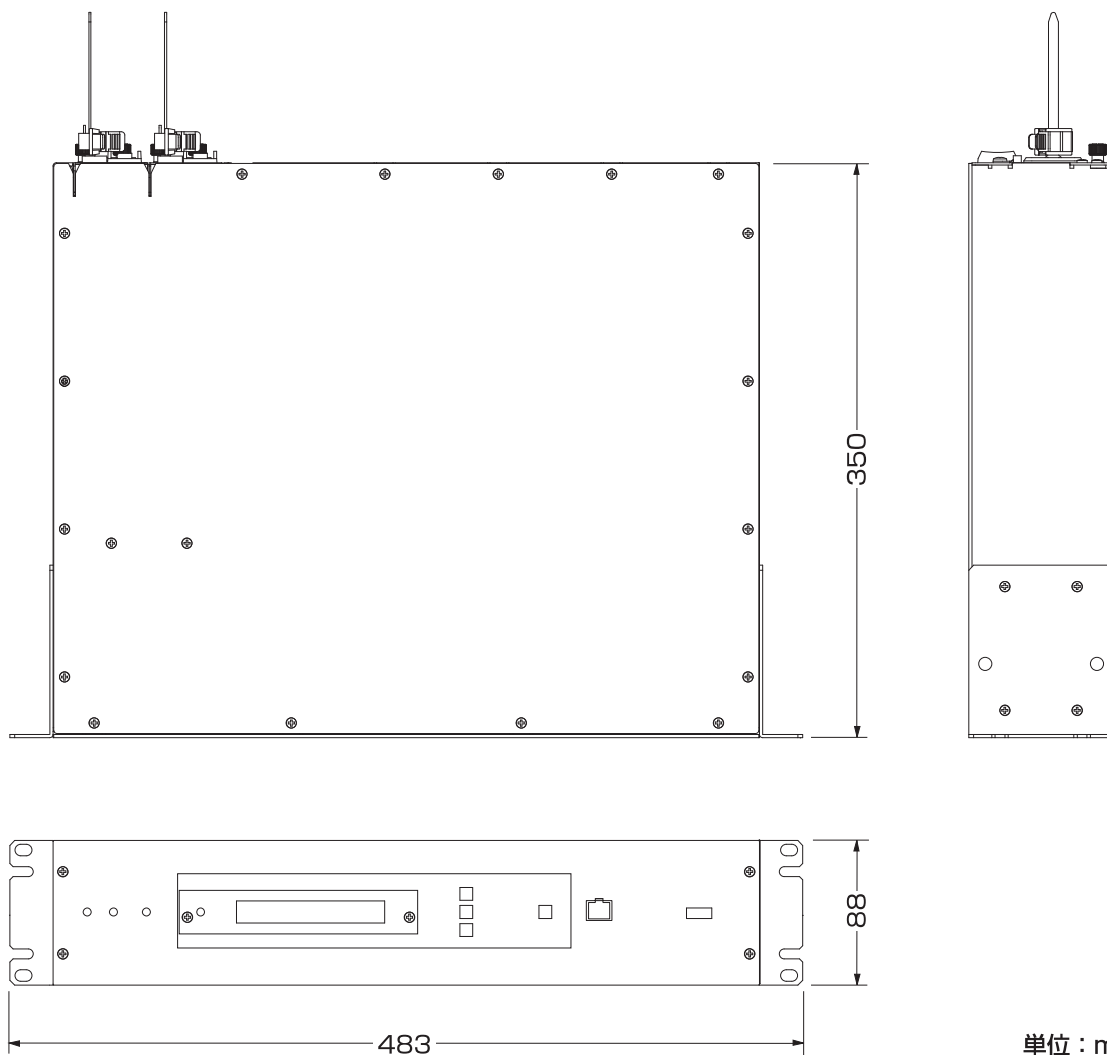
本器のすべて、または部品を廃棄する場合には、自治体の定めた条例にしたがって処理してください。

特 長

1. 本器は接点情報を監視し、監視した情報をメールやSNMP-Trapを送信、DO (接点出力) を操作する装置です。
2. DI (接点入力) 端子、DO (接点出力) 端子にRJ - 45端子を採用しているため、接点接続が容易です。
3. DI (接点入力) 端子は168ポート、DO (接点出力) 端子は24ポートと多数設けてあり、様々な機器の監視が可能です。
4. Internet ExplorerなどのWebブラウザに対応した監視装置ソフト (内蔵webサーバ) を搭載しており、別途制御ソフトウェアは不要です。(推奨ブラウザ: Internet Explorer 11)
5. 液晶パネルにて、簡易的に監視状態の確認が可能です。
6. SNMPに対応しているため、マネージャソフトとの連携で大規模な監視システムの一部として運用可能です。
7. 電源部はユニット構造で2台冗長運用が可能ですので、信頼性の高いシステムが構築可能です。

※webブラウザを使用した使用方法・各種設定方法はソフトウェア説明書をご覧ください。

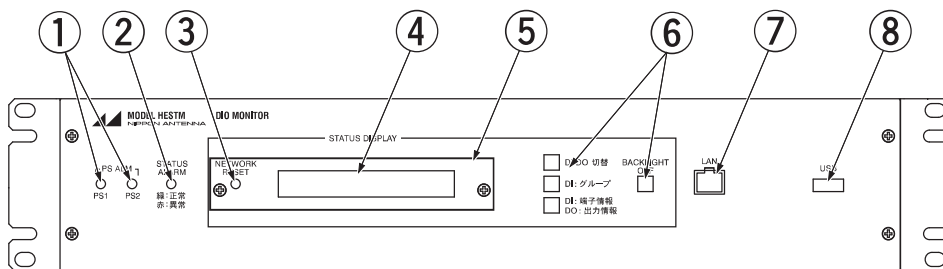
外観および寸法図



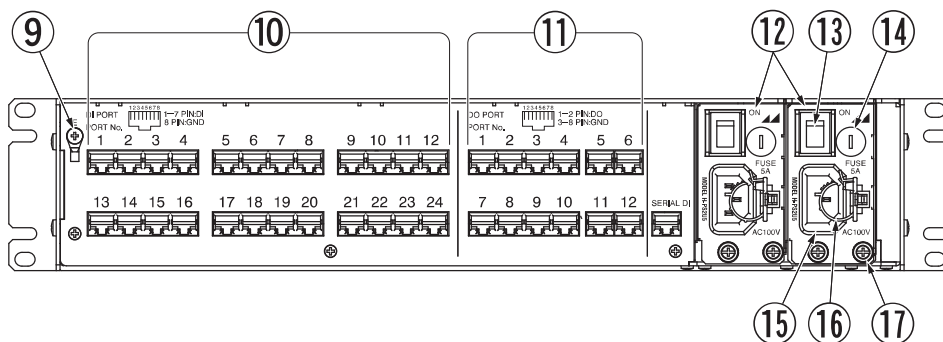
単位: mm
質量: 約5kg

各部の名称および機能

● 前面



● 背面



①	電源アラームランプ	電源ユニットのアラーム表示ランプです。PS1、PS2の各電源ユニットの出力電圧が低下すると赤く点灯します。
②	状態表示アラームランプ	アラーム表示ランプです。DI端子に1つもアラーム入力がないと緑に、アラーム入力が1つでもあれば赤く点灯します。
③	ネットワークリセットスイッチ	押しながら電源を入れると、IPアドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイが初期化されます。液晶パネルにinitializedと表示されるまで長押ししてください。
④	液晶パネル	DI/DO端子の状態を簡易的に確認できます。
⑤	保護パネル	保護パネルです。ネットワークリセットスイッチを操作する時にはずしてください。
⑥	液晶パネル操作ボタン	液晶パネルを操作するボタンです。
⑦	ネットワークインターフェース	ネットワークとの接続に使用します。(10/100BASE-TX)
⑧	メンテナンス用端子	ファームウェアバージョンアップ用のUSB端子です。
⑨	機能アース端子	アース線はφ1.6~2.0mmの被覆銅線で完全に接地してください。接地が不十分ですと避雷回路が働かず、機器や施設の故障の原因になることがあります。 (D種接地工事：接地抵抗100Ω以下)
⑩	DI端子	24個設けてあり、それぞれRJ-45端子になっています。1~7pinがDI、8pinがGNDとなっています。
⑪	DO端子	12個設けてあり、それぞれRJ-45端子になっています。1~2pinがDO、3~8pinがGNDとなっています。
⑫	電源ユニット (H-PS2U5)	電源部はユニット式で2台冗長運用が可能です。電源ユニットはH-PS2U5をご使用ください。
⑬	電源スイッチ	電源ユニットのメインスイッチです。電源をONにするとLEDが緑に点灯します。
⑭	ヒューズ (5A)	定格5Aのタイムラグヒューズが付いています。
	⚠ 注意 必ず指定されたヒューズをご使用ください。機器故障の原因になります。	
⑮	AC100Vインレット	AC100Vを入力します。指定の電圧以外は入力しないでください。
	⚠ 注意 必ず付属の電源コードをご使用ください。機器故障の原因になります。	
⑯	電源コード抜け防止機構	AC100Vインレットから電源コードが抜けるのを防止します。
⑰	電源ユニット取付ねじ	電源ユニットを本体に固定するためのねじです。

標準性能表

	項 目	性 能	備 考
接点入力	接続対象	無電圧接点機器	
	DI端子数	24	RJ-45
	DI端子仕様	1～7pin : DI、8pin GND	
接点出力	DO端子数	12	RJ-45
	DO端子仕様	1～2pin : DO、3～8pin GND	
	DO端子接続形式	フォトモスリレー (DC30V 30mA max)	RJ-45
	ネットワークインターフェイス	10/100BASE-TX	
	監視方式	内蔵webサーバ、SNMPv1 v2c	
	Eメール送信先設定数	5	
	SNMP-Trap通知先設定数	5	
	耐雷性 (kV)	±15(1.2/50 μ s)	電源端子
	電源電圧 (V)	AC100±10% (50/60Hz)	2電源冗長 H-PS2U5
	消費電力 (W)	4	最大
	使用温度範囲 (°C)	0～+40	本体周囲温度
	外形寸法 (mm)	88 (H) ×483 (W) ×350 (D)	突起物を含まず
	質 量 (kg)	約5.0	

初期設定

●ネットワーク設定

IPアドレス : 192. 168. 1. 100
 サブネットマスク : 255. 255. 255. 0
 デフォルトゲートウェイ : 192. 168. 1. 254

●管理者ユーザーログイン

「状態表示画面」の閲覧、および「各種設定画面」の操作ができます。
 ユーザーID : admin
 パスワード : hestm

●一般ユーザーログイン

「状態表示画面」のみ閲覧可能です。
 ユーザーID : user
 パスワード : hestm

施工説明書

設置場所・条件

- 高温(40℃以上)の場所、直射日光にあたる場所、有毒ガスなどの発生する場所は避けてください。
- 電機配線、配線工作物の近くや、強い電磁場を受ける場所を避けてください。
- メンテナンスに容易な場所を選定してください。

接点監視について

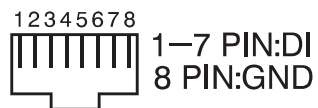
本器はDI(接点入力)端子が設けてあり、接点出力をもつ機器の監視が可能です。監視対象機器は無電圧接点機器となります。open/short時いずれかで警告を出すかは任意に設定可能です。DI端子はopen時に+4.2V程度の電圧が出ています。

⚠注意 監視対象機器の接点出力条件を必ずご確認ください。正しく接続しないと機器故障の原因となります。

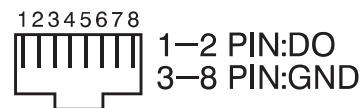
接続方法

DI端子、DO端子はRJ-45端子を採用しておりますので、アラーム接続はLANケーブルを使用して容易に行えます。DI(接点入力)端子は168(24×7)ポート、DO(接点出力)端子は24(12×2)ポートと多数設けてあり、様々な機器の接点監視が可能です。DI接続形式のopen、shortはwebブラウザから設定可能です。DI端子、DO端子の仕様は以下となります。

●DI端子×24

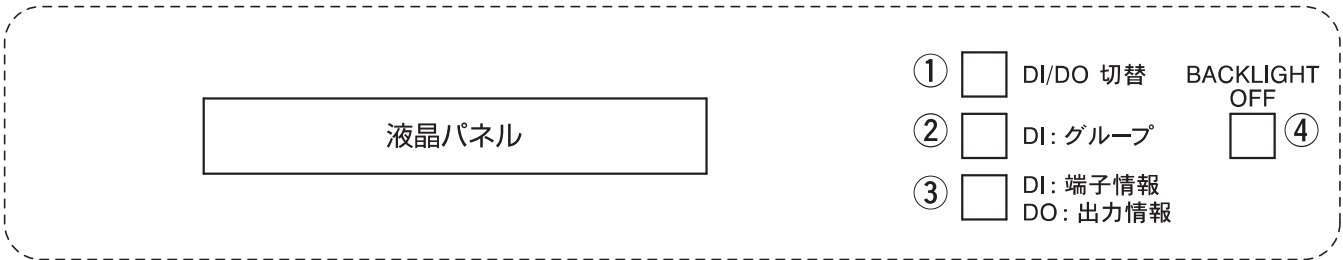


●DO端子×12



液晶パネルについて

本器前面にある液晶パネルにてDIとDOの状態を簡易的に確認することができます。メンテナンス時などにご使用ください。



○操作ボタン説明

①	DI/DO切替ボタン	DI情報とDO情報の表示を切替えることができます。
②	DI: グループ切替ボタン	DI表示時: アラームが出ているグループを切替えることができます。
③	DI: 端子情報/ DO: 出力情報切替ボタン	DI表示時: アラームが出ているDI端子情報を切替えることができます。 DO表示時: DO出力情報を切替えることができます。
④	BACKLIGHT OFFボタン	バックライトを消灯します。5分間無操作状態が続いても消灯します。

※液晶のバックライトは①～③のいずれかを押すと点灯します。

○液晶表示内容とボタン操作方法

●DI情報表示

- ・DIにて何もアラームが検知されていない状態

IN : NO ALARM

- ・DIにてアラームが検知されている状態

IN : GROUP1
DI1-1

上段: アラームが検知されているDI端子が所属しているグループ名(LCD用)が表示されます。アラームが検知されているグループが複数ある場合は②ボタンで切替えて表示できます。

下段: アラームが検知されているDIのPIN名称が表示されます。グループ内に複数アラーム検出が有る場合は③ボタンで切替えてできます。

●DI情報表示

- ・DOの設定が何もされていない状態

OUT : none

- ・DOの設定がされている状態

OUT : DO1-1
short manual

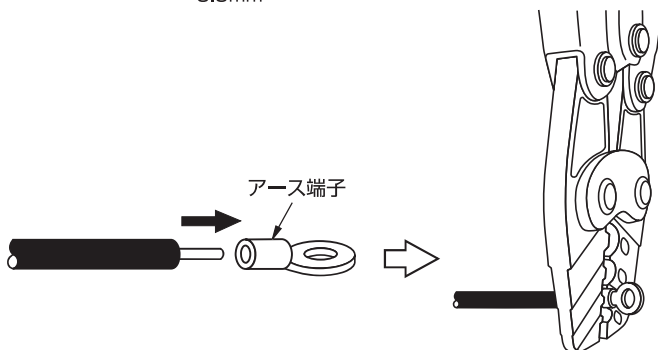
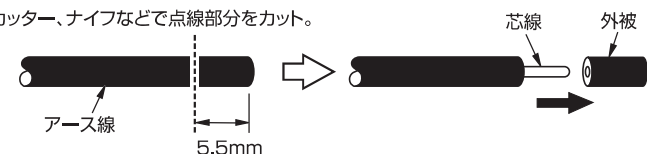
上段: DOのPIN名称が表示されます。③ボタンで切替えることができます。無効に設定されているものは表示されません。

下段: DOの状態がshort/openで表示されます。manualは手動、autoはシナリオにより設定されていることを示します。

機能アース

- ①アース線先端の外被をはがしてください。
- ②アース端子にアース線を通して、圧着工具でかきつけてください。
- ③アース端子をシャーシにねじ止めしてください。

カッター、ナイフなどで点線部分をカット。



締付トルク 0.5N・m
(約5kgf・cm)

ポイント

アース線はφ1.6~2.0mmのIV線をご使用ください。

⚠注意 アース接続は必ずおこなってください。接地が不十分だと避雷回路が働かず、機器や施設の故障などの原因となることがあります。(接地抵抗 100Ω以下：D種接地工事)

ファームウェアバージョンアップ

1. USBメモリにバージョンアップファイルを入れます。
2. 本器の電源を入れた状態でUSBメモリをメンテナンス用端子に挿し込むと、ファームウェアバージョンアップがはじまり、液晶パネルに[Firmware Update]と表示されます。
3. 液晶パネルに[Update Success Remove USB media]と表示されたら、バージョンアップ終了です。USBメモリを抜いてください。自動的に再起動いたします。

注：USBメモリはフォーマットされている物を使用し、バージョンアップファイル以外は入れないでください。

お客様窓口



0570-091039

ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30(土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)

ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)
(ホームページアドレス) <http://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
5104815 平成29年5月